

D—18 消費動向に関する一考察（その2）

群馬女短大 千綿寿賀子

1. 急速な経済成長に伴ない、消費水準も年毎に高まり、消費内容の変化と平準化が著しいといわれるが、今回は関東周辺、地方中都市における、一般家庭の耐久消費財と被服の購買状況と購買動機を調査し、それを地帯別、職業別、年令別の角度から分析して、地方中都市における消費動向の特徴を家政学的に把握することを目的とする。

2. 統計処理による考察

(1) 購買状況調査。

- (a) 耐久消費財と外出着の所持状況、並びに、必要度、緊急度の調査。
- (b) 購入店舗の種類を品目別、地域別分類。
- (c) 購入の時期を地域別、職業別、分類。
- (d) 購入主体者を品目別に分類。
- (e) 購入時期を職業別、地域別分類。
- (f) 支払方法を地域別、職業別に分類。
- (g) 必要度、緊急度を品目別に分類。

(2) 購買決定条件の調査。

1) 内部的要因の分析。

2) 外部的要因の分析。

※ 調査時点を 1967 年 3 月とし、過去は、世帯を構成した時期にさかのぼる。

3. 調査整理，考察中